

審査の結果の要旨

氏名 高田 誠 マルセール

本研究は、町並みとしての地域特性を持たざる地域において、擬似的に形成される町並みに内包されうる創造性に着目したユニークな研究である。ここで、創作的町並みとは、「特定のテーマに基づいた、理想とする町並みの完成像を目標に形成される擬似的な町並み」を指し、その形成過程において、既存の地域資源と異なる価値基準を有するとされる。

序章では近年の町並み形成における課題点から本研究が対象とする創作的町並みとその手法の確立の必要性について論じている。とくに文化的景観との対比のなかから、本研究を通抵する創作的町並みの定義づけを行うとともに、創作的町並みを必要とする今日の社会的背景について整理している。

1章では、文化的景観などの既存の価値との対比及び過去の町並み創出事例に対する評価の整理を行い、町並み整備と観光化のなかでの創作的町並み独自の価値形成の可能性について認識の枠組みを提示している。

2章では地域開発と文化に着目し、開発の階梯のなかでの創作的町並みの位置づけと価値形成の可能性について論じている。創作的町並みは、対象とするテーマ性と地域空間との関わりから「再現」「移植」「転回」という程度の差があると考え、それら創作の幅とともに、まちづくり手法としての実践論的枠組みを提示している。

1章及び2章における理論的枠組みの整理から、創作的町並みの価値形成と継続的發展を可能にする開発手法として、段階的發展を仮説的に提示した。創作的町並みの価値形成過程と継続的發展はSTEP1「町並み形成とテーマ化の核整備」、STEP2「場の強化と既存空間のテーマ化」、STEP3「テーマ化空間の波及」、STEP4「他地域へのまちづくり活動の波及」の段階的發展のなかでその特異性に対する価値を形成すると仮定している。

3章及び4章では彦根市で実施された2つの隣接する創作的町並みを対象とした調査を実施した。地域空間特性の変容と地域社会に与えたインパクトについて「空間構造」「空間機能」「空間意匠」の観点から分析を行った。地域空間特性の変容をもとに、創作的町並みの価値形成と地域開発としての効果に関して「経済効果」および「コミュニティ効果」の視点から分析し、創作的町並みによる空間文化の形成の可能性について考察している。

彦根の事例において、創作的町並みとそのテーマ性についての考察を行った結果、土地との関係性が強いテーマとして夢京橋キャスルロードの江戸風町並みにおける地域アイデンティテ

ィの強化を図る方向性と、土地との関係性が弱いテーマである四番町スクエアの大正風町並みにおける日常生活空間の延長から生じる創作空間特性の発展というテーマによる価値形成の方向性の違いを示した。

5章では伊勢市内宮門前町におけるおほらい町及びおかげ横丁による江戸風町並みの整備、大倉山エルム通り商店街によるギリシャ風町並みの整備を対象とした調査を実施、6章では、上海市金山農民画村における町並み創出事例を対象とした調査を実施している。7章では事例調査の結果をもとに、創作的町並みの価値と発展に関する考察を行っている。

事例調査を通じて得られた創作的町並みにおいて形成される価値について、経済効果及び住民意識において、観光資源的な価値の認識が最も多く発生していることが確認された。伊勢内宮門前町、彦根夢京橋においては、来訪者の獲得及び売上げの向上などの点から観光資源的な価値を獲得していることが示された。また、彦根市の地域住民を対象に行ったアンケート結果では、歴史的結びつきの強いテーマ及び町並みである夢京橋に関して、観光資源であるとともに地域らしい町並みとしての住民評価を獲得していることが示された。大正というテーマと地域の結びつきが弱い町並みを形成した四番町に関しては、夢京橋と比較した場合にはその評価が相対的に低い結果となるものの、従来の商店街以上の町並み評価を獲得している結果となった。

再現的な町並みでは、町並みの創出そのものを地域の連続性のなかでの動きとして捉える傾向があり、擬似伝統的な町並み、新たな伝統としての評価を獲得することが明らかにされた。地域主体による聖性を創出しようとする意図が明確にされているのは、伊勢福によるおかげ横丁を中心とした取り組みにおいてであった。地域開発において前提となる伊勢神宮への感謝の気持ちを込めた空間として意味を持たせようとする取り組みのなかで、創作的町並みにいて場の意味を形成しつつあることが示された。

このように本論文は、意図的に創造されたテーマ性を持った創作的町並みが、どのようにして生まれ、発展し、保全されているのかを多角的に考察したものである。その中で、町並みの維持管理が重要課題であるとともに、適切な維持管理が行われれば、町並みを支えるデザインコードが基準としての意義を高め、さらに活性化を生むという相乗効果を持つことを明らかにしている。このように創作的町並みの分析を通じて、まちづくりの新たな手法の可能性を明らかにしたという点で、本論文は優れた成果を上げている。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。